



第42回定期大会 田谷書記長 総括答弁②

本部大会で加藤委員長は「定期昇給を軸とした新たな格差と分断、不利益変更反対！安全・健康・生活を守るために、全組合員でたたかおう！」というスローガンを掲げました。「現段階では反対」だということです。加藤委員長の決意は、重要な決意であり、このことを職場の組合員・未加入者に広めていくのが私たちの役目です。そして未加入者にはっきりと加入を迫っていくべきではないでしょうか。

今の会社に対する不平・不満・危機感を結集させ良い職場・良い会社をつくろうともう一步踏み込んでいくことをこの場のみなさんにも要請します。

埼京運輸区分会における退勤点呼の問題についても出されました。管理者とのコミュニケーションの問題や追給を求めるとありましたが、間違ったら謝ればいいじゃないですか。

人が足りないのに「必要な要員は確保していく」、安全な現状ではないのに「安全は経営のトッププライオリティである」、首を絞めソファに押し付けたにもかかわらず「そのような事実はない、ペンを握りしめていたため恐怖に感じたから」・・・自分たちの都合の良いシナリオのために、事実を受け入れない、捻じ曲げていく、これがあらゆる場面で共通する今の経営姿勢です。だからこそAくんの裁判闘争を東京地本としてもしっかりと支えて行く。そしてAくんの勇気を見た方が再加入を果たしました。事件に対するこれまでの会社の隠蔽体質にメスを入れていくたたかいもまたしっかり支えていこうではありませんか！元組合員の管理者層は「これはやってはダメ」と、良心ある方もいるのではないのでしょうか。しかし、組合に携わったことが無い世代では、管理者としてやりたい放題という者も出てくると思います。新たな施策や安全、要員の問題は、今の会社の経営姿勢にたどり着きます。

様々話をしていくと、結局は過半数代表者選挙や再加入の話と一致していくことを実感しました。千葉地本では「要求実現と組織拡大は両輪」という合言葉で多くの再加入を勝ち取っています。また、盛岡地本の仲間はこう話しています、「組織拡大が最大の課題だって分かっていますか？」「一万人組織を目指すのでは？ゆくゆくやいずれではない。今一万人組織を目指していくことが大事なのでは？」と。私にはグサッと刺さりました。

昨年の本部大会以降46名が再加入しています。高橋書記長は「東京地本は組合員・未加入者のよりどころ」と言ってくれました。皆さんも「トモニ笑ッテクダ祭」やバーベキューなど多くの組合員・未加入を連れてきてくれて本当にありがとうございます。東京地本も加入めざしてがんばりましょう。

私の生まれは深川の下町で「東京大空襲」がありましたが、代議員からも「今日は宇都宮空襲の日」とありました。平和でなければ賃上げなんて言えません。

お手元にも情報をお配りしましたが、それぞれお住いの地域に応じて、推薦議員の当選に取り組む課題は山積みですが、東労組が一万人組織を目指していくという教科書の無いたたかいの中で、向こう一年新たな施策にしっかりと向き合っていただきたいと思います。方針書にもある通り「政治と戦争の危機」「憲法改悪の危機」は存在し続けています。7月20日の参議院選挙では私たちと想いを共にする、良識ある議員と共に良い社会を目指し、推薦議員の当選にむけて取り組んでいきましょう。

中央本部から解明要求が出されました。これからは新人事賃金制度と組織再編それぞれの基本要素へと進んでいきます。東京地本としても、意見集約を取り組み、対案を練り上げます。「年末手当の闘い」「ダイヤ改正提案」など、諸施策にしっかりとたたかい、安全・健康・ゆとりを前提として、安心して働ける企業を取り戻すために、モノを申し続けていくことが我々の使命です。これまでと同様に「抵抗とヒューマニズム」の精神をもって、組合員・家族のために新たに水戸地本の仲間と共にたたかい、その要求実現のために組織拡大を実現していきましょう。一日ありがとうございました。